学校番号	１２０３

令和２年度　数学科

教科	数学科	科目	数学活用	単位数	１単位	年次	２、３年次
使用教科書	「数学活用」（実教出版）						
副教材等	なし						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

身近な教材を多く使い、楽しみながら社会生活を営む中で必要となるであろう数学の知識を習得します。予習・復習にもしっかり取り組んでくれることを期待します。

２　学習の到達目標

１．身の回りのいろいろなところで数学が関係していることを理解する。
２．経済や測定など、社会生活を営むうえで数学が使われていることを理解する。
３．数学と人間がどのように関わって発展してきたかを理解する。

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b: 数学的な見方や考え方	c:数学的な技能	d:知識・理解
観点の趣旨	「身の回りの数学」に関する数理的な諸概念に興味・関心をもち,それらを意欲的に探究するとともに,数学を活用しようとする。	「身の回りの数学」におけるいろいろな事象について,数学的にとらえて論理的に考察し，表現できる。	「身の回りの数学」について事象を数量や図形を用いて適切に処理できる。	「身の回りの数学」に関する基本的な概念や原理・法則を理解し，知識を身に付けられる。
評価方法	単元テスト 課題レポート ノート点検 出席状況 観察等	定期考査 確認テスト 単元テスト 課題レポート ノート点検 観察等	定期考査 確認テスト 単元テスト 課題レポート ノート点検 観察等	定期考査 確認テスト 単元テスト 課題レポート ノート点検 観察等

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
前期または後期(半期科目)	身の回りの数学	・いろいろな場合の数	○	○	○		a: トーナメントとリーグ戦に関心をもち積極的に探究しようとする。 b: 道の曲がり角に着目して，最短距離の道順の総数を考えられる。 c: ひと筆がきができる図形と，できない図形をつくることができる。 d: 行列の積の計算ができる。	定期考査 確認テスト 単元テスト レポート ノート点検 出席状況 観察等
		・身の回りの図形	○	○	○			
		・数学的な表現のくふう	○	○	○	○		
前期または後期(半期科目)	社会生活と数学	・経済と数学	○	○	○		a: 宝くじの期待値に関心をもち、調べようとする。 b: 単利法と複利法の利子の増え方の違いがわかる。 c: いろいろな地図をもとにして，実際の距離や面積を求めることができる。 d: 勾配をもとにして高さや距離が求めることができる。	定期考査 確認テスト 単元テスト レポート ノート点検 出席状況 観察等
		・測定と数学		○	○	○		
		・コンピュータと人間の活動		○	○			
前期または後期(半期科目)	数学の発展と人間の活動	・数と人間	○	○			a: エジプトの記数法やバビロニアの記数法に関心をもち，それらの特徴を積極的に調べようとする。 b: 複雑な図形を単純化して，面積を求めることができる。 c: 三平方の定理を利用して，未知の長さを求めることができる。 d: 円を含んだ図形の面積が求められる。	定期考査 確認テスト 単元テスト レポート ノート点検 出席状況 観察等
		・図形と人間	○	○	○	○		
		・数学と文化		○	○	○		

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　b:数学的な見方や考え方
c:数学的な技能　d:知識・理解

※　原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。